diBar

液晶 QR 対応
diBar eTicket Reader
説明書

人にやさしく、地球にやさしく
Thoughtfully, Living with the Earth
WELCOM DESIGN
http://www.e-welcom.com/
ISO14001Certified

ウェルコムデザイン株式会社
本社 神戸市西区井吹台東町1-1-1 西神南センタービル 〒651-2242
Phone. 078-993-6010(代) Fax. 078-993-6020
東京 東京都文京区湯島3-14-9 湯島ビル 〒113-0034
Phone. 03-3836-9411(代) Fax. 03-3836-9412

改訂記録	
改訂番号	改訂日
Preliminary	2015/07/22（β）

1. 本書の内容に関しては、将来予告無しに変更することがあります。
2. 本取扱説明書の全部又は一部を無断で複製することはできません。
3. 本書内に記載されている製品名等の固有名詞は各社の商標又は登録商標です。
4. 本書内において、万一誤り、記載漏れなどお気付きのことがありましたらご連絡ください。
5. 運用した結果の影響について、責任を一切負いかねます。

Copyright © 2015

製品保証と注意事項

「保証期間」

本製品の保証期間は、ご購入日より１ヶ年とさせていただきます。

「保証範囲」

保証期間中に納入者側の責により故障を生じた場合は、納入者側において機器の修理または交換を行います。
但し、保証期間内であっても、次に該当する場合は、保証対象から除外させていただきます。

- 需要者側の不適当な取り扱いならびに使用
- 故障の原因が納入者以外の事由による場合
- 外装部品の損傷
- 自然劣化・消耗部品
- 需要者側で改造・修理を行った場合
- 天災地変による場合

尚、ここでいう保証は納入品単体の保障を意味するもので、納入品の故障により誘発される損害はご容赦いただきます。

「修理」

修理は全てｾﾝﾄﾞﾊﾞｯｸ方式で行います。現地での出張修理などは一切行いません。

「電波障害自主規制について」

本装置は米国通信規制「FCC 第 15 条補足 J」による計算機器制約条件に適合しております。商業環境での使用において妥当な保護措置がなされています。しかし、住宅地域でのご使用は妨害（ﾗｼﾞｵ･ﾃﾚﾋﾞなどの受信障害）が起こることがあります。

「その他」

- 納入品の価格には、ｻｰﾋﾞｽ費用は一切含んでおりません。

Copyright © 2015

安全上の注意

✧ ご使用の前に本書をお読みになり、正しく安全にご使用ください。
✧ 本書は、いつでも見られる場所に大切に保管してください。

使用上の注意

✓ ﾚｰｻﾞ照射窓を覗いたり、ﾚｰｻﾞﾋﾞｰﾑを直視することは絶対にしないでください。
✓ 分解・改造しないでください。発熱・火災・けがの原因となります。
✓ ｶﾞｽ・火薬など可燃性物質が発生する場所での使用はしないでください。破裂・発火・火災の原因となります。
✓ 衝撃を与えたり、落としたり、本機の上に物を置いたりしないでください。
✓ 小児の手の届くところに置いたり、使用させないでください。
✓ 雨や水などがかかる場所で使用しないでください。
✓ ｽﾄﾗｯﾌﾟを持って振り回したりしないでください。破損やけがの原因となります。
✓ 炎天下の車内や冷凍庫など高温・低温になる場所には放置しないでください。
✓ 湿度の高い場所や誇りの多い場所には放置しないでください。
✓ 使用温度範囲内で使用してください。
✓ 静電気の起こりやすい場所やﾃﾚﾋﾞなどの磁気を発生する機器のそばには置かないでください。
✓ 安定しない場所に放置、保管しないでください。
✓ 低温の場所から高温の場所へ移動すると、結露が発生する恐れがあります。結露が発生した場合は、水滴が完全に蒸発するまで、本機をしようしないでください。
✓ 本機のｸﾘｰﾆﾝｸﾞは、柔らかい布で軽くからぶきするか、中性洗剤に浸した柔らかい布をよく絞ってから軽く拭いてください。

充電池および充電器・充電に関する注意（前項目に加え、下記の事項に注意ください）

✓ 付属のACｱﾀﾞﾌﾟﾀ以外は、絶対に使用しないでください。発熱・火災・けがの原因となります。
✓ 異物を入れないでください。ｼｮｰﾄや発熱により、火災・感電の恐れがあります。
✓ ACﾌﾟﾗｸﾞや電源ｺｰﾄﾞを引っ張ったり、ねじったり、負荷をかけたり、加工したりしないでください。火災・感電の原因となります。
✓ ACﾌﾟﾗｸﾞや電源ｺｰﾄﾞが傷んだ場合は、すぐに新しいものと交換してください。火災・感電の原因となります。
✓ 濡れた手で電源の抜き差しを行わないでください。感電の原因となります。
✓ 充電は、必ず0~40℃の温度範囲で行ってください。
✓ 指定以外の充電池を使用しないでください。
✓ 充電池は、ﾃﾞﾊﾞｲｽから取り外し、金属などがない0~40℃の温度範囲の場所に保管してください。
✓ 充電池を充電しても動作時間が短い場合は、充電池の寿命です。新しい充電池をお求めください。
✓ ご不要になった充電池を廃棄する場合は、各自治体の条例に従い、正しく処理してください。

Copyright © 2015

INDEX

1. はじめに 6
1.1. 外形寸法 6
1.2. 各部名称と働き 6
2. 工場ﾃﾞｨﾌｫﾙﾄ 7
3. TTL232 ｲﾝﾀｰﾌｪｲｽ 8
3.1. ﾎﾞｰﾚｰﾄ 9
3.2. ﾃﾞｰﾀﾋﾞｯﾄ/ﾊﾟﾘﾃｨ/ｽﾄｯﾌﾟﾋﾞｯﾄ 10
4. USB ｷｰﾎﾞｰﾄﾞｲﾝﾀｰﾌｪｲｽ(HID) 11
4.1. 国別ｷｰﾎﾞｰﾄﾞ 12
4.2. 大文字/小文字変換 15
5. USB-COM ｲﾝﾀｰﾌｪｲｽ 16
5. 読み取り動作に関するﾊﾟﾗﾒｰﾀ 17
5.1. 反転ﾋﾞﾃﾞｵﾓｰﾄﾞ 17
5.2. ｲﾙﾐﾈｰｼｮﾝ(読み取り照明) 17
5.3. ｸﾞｯﾄﾞﾘｰﾄﾞﾋﾞｰﾌﾟ 18
5.4. ｸﾞｯﾄﾞﾘｰﾄﾞﾋﾞｰﾌﾟ音色 18
5.5. ｸﾞｯﾄﾞﾘｰﾄﾞﾋﾞｰﾌﾟ長 19
5.6. ｸﾞｯﾄﾞﾘｰﾄﾞﾋﾞｰﾌﾟ回数 19
5.7. 読み取りﾃﾞｨﾚｲ 20
5.8. 画像転送 20
6. ﾃﾞｰﾀﾌｫｰﾏｯﾄ 21
6.1. ﾀｰﾐﾈｰﾀ 21
6.2. ﾌﾟﾘﾌｨｯｸｽ 21
6.3. ｻﾌｨｯｸｽ 22
6.4. 全ﾌﾟﾘﾌｨｲｸｽ/ｻﾌｨｯｸｽ消去 22
7. 読み取りｺｰﾄﾞ 23
7.1. 全ｺｰﾄﾞ読み取り 23
7.2. ｺｰﾄﾞ 128 23
7.3. JAN/EAN-8 24
7.4. JAN/EAN-13 26
7.5. UPC-E 28
7.6. UPC-A 30
7.7. ｲﾝﾀｰﾘｰﾌﾞﾄﾞ 2/5 32
7.8. ｲﾝﾀﾞｽﾄﾘｱﾙ 2/5 33
7.9. ｺｰﾄﾞ 39 34
7.10. ｺｰﾀﾞﾊﾞｰ(NW7) 36
7.11. ｺｰﾄﾞ 93 37
7.12. GS1-128 38
7.12. MSI 38
7.14. PDF417 40
7.15. QR ｺｰﾄﾞ 41
7.16. Data Matrix 42
7.17. Maxi ｺｰﾄﾞ 42
7.18. Aztec ｺｰﾄﾞ 43

補足 A. ASCII ｺｰﾄﾞ表 44
補足 B. 16 進数ｺｰﾄﾞ表 45
補足 C. ｻﾝﾌﾟﾙﾊﾞｰｺｰﾄﾞ 47

修理依頼書 49

Copyright © 2015

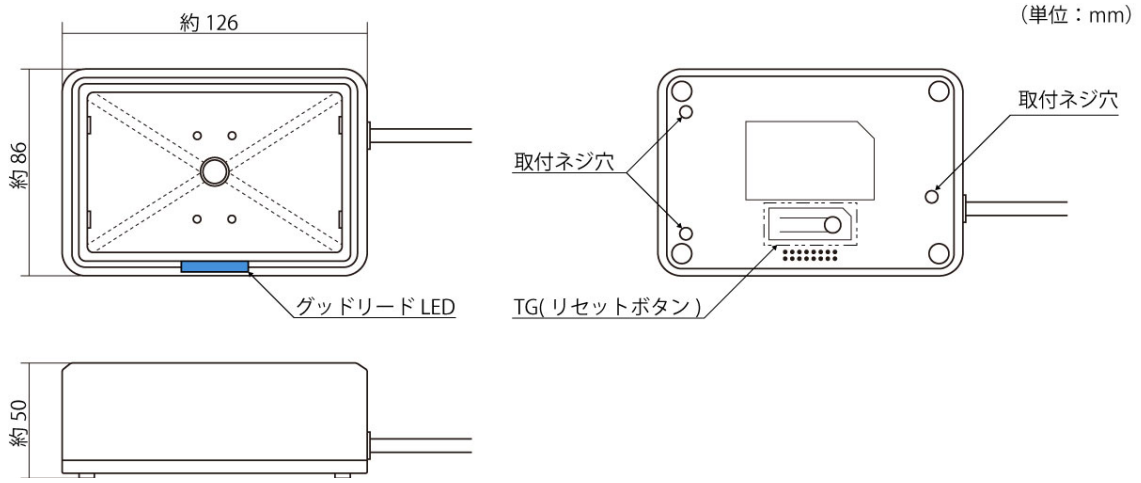
1. はじめに

この度は、弊社 diBar eTicket ｼﾘｰｽﾞ(以下、ﾊﾞｰｺｰﾄﾞﾘｰﾀﾞ)をお買い上げいただきありがとうございます。
本書は、ﾊﾞｰｺｰﾄﾞﾘｰﾀﾞのﾊﾟﾗﾒｰﾀ設定を行うために用意された別冊ｶﾞｲﾄﾞです。基本的な導入方法に関しては、製品に同梱されている導入ｶﾞｲﾄﾞを参照ください。

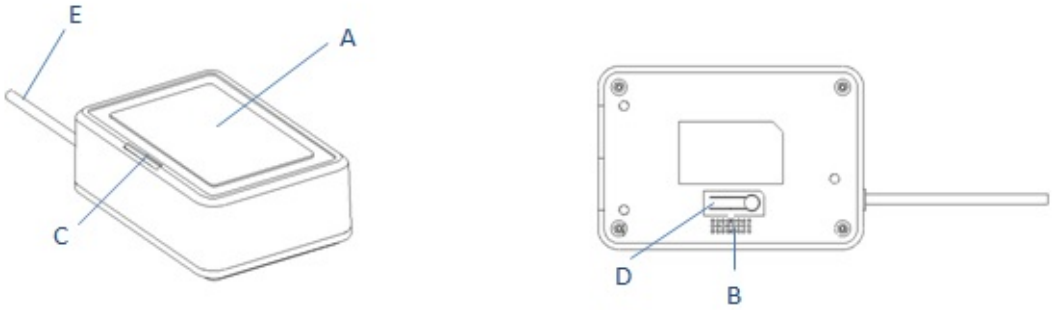
本書に掲載しているｺﾏﾝﾄﾞﾊﾞｰｺｰﾄﾞを読み取ることで､ﾊﾞｰｺｰﾄﾞﾘｰﾀﾞの動作や読み取りに関するﾊﾟﾗﾒｰﾀ設定が行えます。
設定されたﾊﾟﾗﾒｰﾀは、不揮発性ﾒﾓﾘに保存されるため、電源をｵﾌにして設定が消えることはありません。

1.1. 外形寸法

下記に外形寸法図を示します。



1.2. 各部名称と働き



記号	名称	働き
A	読取ｳｨﾝﾄﾞｳ	QR ｺｰﾄﾞやﾊﾞｰｺｰﾄﾞを中央部にかざすと、読み取りを行います。 ｴﾘｱｲﾒｰｼﾞｬを搭載しているため、360°の読み取りが可能です。但し、読み取りﾊﾟﾌｫｰﾏﾝｽは、周囲照度、液晶明るさ、ｺｰﾄﾞ品質などに影響を受けます。
B	ｽﾋﾟｰｶﾎｰﾙ	ﾌﾞｻﾞｰ音を発します。
C	ｽﾃｰﾀｽ LED	ﾘｰﾀﾞｽﾃｰﾀｽを表示します。 **青色 LED** 電源ｵﾝで点灯します。読み取り待機中は、点滅します。 **紫色 LED(赤+青)** 読み取りに成功すると、点灯します。 **赤色 LED** ﾊﾞｰｺｰﾄﾞﾘｰﾀﾞの異常時に、点灯します。
D	ﾘｾｯﾄｷｰ	10 秒間長押しすると、ﾋﾞｰﾌﾟ音鳴動し、ｲﾝﾀｰﾌｪｲｽ以外のﾊﾟﾗﾒｰﾀを初期状態に戻します。また、ﾄﾘｶﾞﾎﾞﾀﾝとしても動作します。
E	ｲﾝﾀｰﾌｪｲｽｹｰﾌﾞﾙ	RS232C 又は USB ｲﾝﾀｰﾌｪｲｽｹｰﾌﾞﾙが付属します。

Copyright © 2015

2. 工場ﾃﾞｨﾌｫﾙﾄ

下記のﾏﾄﾘｸｽｺｰﾄﾞをｽｷｬﾝすることで、工場出荷時のﾃﾞｨﾌｫﾙﾄ値にﾘｾｯﾄすることが可能です。

[注意]
元の設置値に戻すことはできません。ｽｷｬﾝする際は、十分な注意してください。

Copyright © 2015

3. TTL232 ｲﾝﾀｰﾌｪｲｽ

下記のﾏﾄﾘｸｽｺｰﾄﾞ をｽｷｬﾝすることで、TTL232 ｲﾝﾀｰﾌｪｲｽのﾃﾞｨﾌｫﾙﾄ値にﾘｾｯﾄすることが可能です。

[注意]
元の設置値に戻すことはできません。ｽｷｬﾝする際は、十分な注意してください。

ﾊﾟﾗﾒｰﾀ	ﾃﾞｨﾌｫﾙﾄ値
ﾎﾞｰﾚｰﾄ	115.2Kbps
ﾊﾟﾘﾃｨ	無し
ﾃﾞｰﾀﾋﾞｯﾄ	8ﾋﾞｯﾄ
ｽﾄｯﾌﾟﾋﾞｯﾄ	1ﾋﾞｯﾄ
ﾌﾛｰ制御	無し

Copyright © 2015

3.1. ﾎﾞｰﾚｰﾄ

2400

4800

9600

19200

38400

57600

115200

Copyright © 2015

3.2. ﾃﾞｰﾀﾋﾞｯﾄ/ﾊﾟﾘﾃｨ/ｽﾄｯﾌﾟﾋﾞｯﾄ

ﾊﾟﾘﾃｨ無し/8ﾃﾞｰﾀﾋﾞｯﾄ/1ｽﾄｯﾌﾟﾋﾞｯﾄ

ﾊﾟﾘﾃｨ無し/7ﾃﾞｰﾀﾋﾞｯﾄ/1ｽﾄｯﾌﾟﾋﾞｯﾄ

ﾊﾟﾘﾃｨ無し/7ﾃﾞｰﾀﾋﾞｯﾄ/2ｽﾄｯﾌﾟﾋﾞｯﾄ

ﾊﾟﾘﾃｨ偶数/8ﾃﾞｰﾀﾋﾞｯﾄ/1ｽﾄｯﾌﾟﾋﾞｯﾄ

ﾊﾟﾘﾃｨ偶数/7ﾃﾞｰﾀﾋﾞｯﾄ/1ｽﾄｯﾌﾟﾋﾞｯﾄ

ﾊﾟﾘﾃｨ偶数/7ﾃﾞｰﾀﾋﾞｯﾄ/2ｽﾄｯﾌﾟﾋﾞｯﾄ

ﾊﾟﾘﾃｨ奇数/8ﾃﾞｰﾀﾋﾞｯﾄ/1ｽﾄｯﾌﾟﾋﾞｯﾄ

ﾊﾟﾘﾃｨ奇数/7ﾃﾞｰﾀﾋﾞｯﾄ/1ｽﾄｯﾌﾟﾋﾞｯﾄ

ﾊﾟﾘﾃｨ奇数/7ﾃﾞｰﾀﾋﾞｯﾄ/2ｽﾄｯﾌﾟﾋﾞｯﾄ

Copyright © 2015

4. USB ｷｰﾎﾞｰﾄﾞ ｲﾝﾀｰﾌｪｲｽ(HID)

下記のﾏﾄﾘｸｽｺｰﾄﾞ をｽｷｬﾝすることで、USB ｷｰﾎﾞｰﾄﾞ ｲﾝﾀｰﾌｪｲｽのﾃﾞｨﾌｫﾙﾄ値にﾘｾｯﾄすることが可能です。

[注意]
元の設置値に戻すことはできません。ｽｷｬﾝする際は、十分な注意してください。

ﾊﾟﾗﾒｰﾀ	ﾃﾞｨﾌｫﾙﾄ値

Copyright © 2015

4.1. 国別ｷｰﾎﾞｰﾄﾞ

USA

UK

ﾃﾞﾝﾏｰｸ

ﾌﾗﾝｽ

ﾌｨﾝﾗﾝﾄﾞ

ﾄﾙｺ

ｲﾀﾘｱ

ﾉﾙｳｪｰ

ｱﾙﾊﾞﾆｱ

ﾍﾞﾙｷﾞｰ

Copyright © 2015

ﾎﾞｽﾆｱ

ﾌﾞﾗｼﾞﾙ

ｸﾛｱﾁｱ

ﾁｪｺ

ｵﾗﾝﾀﾞ

ｴｽﾄﾆｱ

ﾄﾞｲﾂ

ｷﾞﾘｼｬ

ﾊﾝｶﾞﾘｰ

ｱｲﾙﾗﾝﾄﾞ

Copyright © 2015

ﾗﾄﾋﾞｱ

ﾘﾄｱﾆｱ

ﾏｹﾄﾞﾆｱ

ｽﾍﾟｲﾝ

ﾎﾟｰﾗﾝﾄﾞ

ﾎﾟﾙﾄｶﾞﾙ

ﾙｰﾏﾆｱ

ﾛｼｱ

日本

Copyright © 2015

4.2. 大文字/小文字変換

変換無し

全て大文字に変換

全て小文字に変換

Copyright © 2015

5. USB-COM ｲﾝﾀｰﾌｪｲｽ

下記のﾏﾄﾘｸｽｺｰﾄﾞをｽｷｬﾝすることで、USB-COM ｲﾝﾀｰﾌｪｲｽのﾃﾞｨﾌｫﾙﾄ値にﾘｾｯﾄすることが可能です。

[注意]
元の設置値に戻すことはできません。ｽｷｬﾝする際は、十分な注意してください。

ﾊﾟﾗﾒｰﾀ	ﾃﾞｨﾌｫﾙﾄ値

[参考]
USB-COM ﾄﾞﾗｲﾊﾞは、弊社 WEB ｻｲﾄよりﾀﾞｳﾝﾛｰﾄﾞをお願いします。

Copyright © 2015

5. 読み取り動作に関するﾊﾟﾗﾒｰﾀ

5.1. 反転ﾋﾞﾃﾞｵﾓｰﾄﾞ

有効

無効

5.2. ｲﾙﾐﾈｰｼｮﾝ(読み取り照明)

照度 高ﾚﾍﾞﾙ

照度 中ﾚﾍﾞﾙ

照度 低ﾚﾍﾞﾙ

ｲﾙﾐﾈｰｼｮﾝ無し

Copyright © 2015

5.3. ｸﾞｯﾄﾞﾘｰﾄﾞﾋﾞｰﾌﾟ

有効

無効

5.4. ｸﾞｯﾄﾞﾘｰﾄﾞﾋﾞｰﾌﾟ音色

低音

中音

高音

Copyright © 2015

5.5. ｸﾞｯﾄﾞﾘｰﾄﾞﾋﾞｰﾌﾟ長

標準

短い

5.6. ｸﾞｯﾄﾞﾘｰﾄﾞﾋﾞｰﾌﾟ回数

1 回

2 回

3 回

4 回

5 回

6 回

Copyright © 2015

5.7. 読み取りﾃﾞｨﾚｲ

無し

500ﾐﾘ秒

2 秒

5.8. 画像転送

Copyright © 2015

6. ﾃﾞｰﾀﾌｫｰﾏｯﾄ

6.1. ﾀｰﾐﾈｰﾀ

CR

LF

CR/LF

TAB

6.2. ﾌﾟﾘﾌｨｯｸｽ

「ﾌﾟﾘﾌｨｯｸｽ」をｽｷｬﾝした後、設定したいﾌﾟﾘﾌｨｯｸｽを 16 進数ｺｰﾄﾞ (補足 B. 16 進数ｺｰﾄﾞ表を参照)でｽｷｬﾝし、最後に「確定」をｽｷｬﾝします。例えば、「ABC」に設定したい場合は、「ﾌﾟﾘﾌｨｯｸｽ」「9」「9」「4」「1」「4」「2」「4」「3」「確定」の順でｽｷｬﾝします。「ﾌﾟﾘﾌｨｯｸｽ」をｽｷｬﾝした後、続けて「9」「9」を必ずｽｷｬﾝしてください。

ﾌﾟﾘﾌｨｯｸｽは、最大 xx 桁まで設定可能です。

ﾌﾟﾘﾌｨｯｸｽ

確定

ｷｬﾝｾﾙ

Copyright © 2015

6.3. ｻﾌｨｯｸｽ

「ｻﾌｨｯｸｽ」をｽｷｬﾝした後、設定したいﾌﾟﾘﾌｨｯｸｽを 16 進数ｺｰﾄﾞ (補足 B. 16 進数ｺｰﾄﾞ表を参照)でｽｷｬﾝし、最後に「確定」をｽｷｬﾝします。例えば、「ABC」に設定したい場合は、「ｻﾌｨｯｸｽ」「9」「9」「4」「1」「4」「2」「4」「3」「確定」の順でｽｷｬﾝします。「ｻﾌｨｯｸｽ」をｽｷｬﾝした後、続けて「9」「9」を必ずｽｷｬﾝしてください。

ｻﾌｨｯｸｽは、最大 xx 桁まで設定可能です。

ｻﾌｨｯｸｽ

確定

ｷｬﾝｾﾙ

6.4. 全ﾌﾟﾘﾌｨｲｸｽ/ｻﾌｨｯｸｽ消去

Copyright © 2015

7. 読み取りｺｰﾄﾞ

7.1. 全ｺｰﾄﾞ読み取り

全ｺｰﾄﾞ読み取り
有効

全ｺｰﾄﾞ読み取り
無効

7.2. ｺｰﾄﾞ128

ｼﾘｱﾙｺﾏﾝﾄﾞを使用することで、最大及び最小読み取り桁数の設定が行えます。ｼﾘｱﾙｺﾏﾝﾄﾞについては、別冊の「ｼﾘｱﾙｺﾏﾝﾄﾞﾘﾌｧﾚﾝｽ」を参照ください。

ｺｰﾄﾞ128
ﾃﾞｨﾌｫﾙﾄ値にﾘｾｯﾄ

ｺｰﾄﾞ128読み取り
有効

ｺｰﾄﾞ128読み取り
無効

Copyright © 2015

7.3. JAN/EAN-8

JAN/EAN-8
ﾃﾞｨﾌｫﾙﾄ値にﾘｾｯﾄ

JAN/EAN-8 読み取り
有効

JAN/EAN-8 読み取り
無効

JAN/EAN-8 ﾁｪｯｸﾃﾞｼﾞｯﾄ送信
有効

JAN/EAN-8 ﾁｪｯｸﾃﾞｼﾞｯﾄ送信
無効

JAN/EAN-8 ｱﾄﾞｵﾝ 2 読み取り
有効

JAN/EAN-8 ｱﾄﾞｵﾝ 2 読み取り
無効

JAN/EAN-8 ｱﾄﾞｵﾝ 5 読み取り
有効

JAN/EAN-8 ｱﾄﾞｵﾝ 5 読み取り
無効

Copyright © 2015

JAN/EAN-8 ｱﾄﾞｵﾝ必須読み取り
有効

JAN/EAN-8 ｱﾄﾞｵﾝ必須読み取り
無効

JAN/EAN-8
ｱﾄﾞｵﾝｾﾊﾟﾚｰﾀ(ｽﾍﾟｰｽ<0x20>)送信
有効

JAN/EAN-8
ｱﾄﾞｵﾝｾﾊﾟﾚｰﾀ(ｽﾍﾟｰｽ<0x20>)送信
無効

Copyright © 2015

7.4. JAN/EAN-13

JAN/EAN-13
ﾃﾞｨﾌｫﾙﾄ値にﾘｾｯﾄ

JAN/EAN-13 読み取り
有効

JAN/EAN-13 読み取り
無効

JAN/EAN-13 ﾁｪｯｸﾃﾞｼﾞｯﾄ送信
有効

JAN/EAN-13 ﾁｪｯｸﾃﾞｼﾞｯﾄ送信
無効

JAN/EAN-13 ｱﾄﾞｵﾝ 2 読み取り
有効

JAN/EAN-13 ｱﾄﾞｵﾝ 2 読み取り
無効

JAN/EAN-13 ｱﾄﾞｵﾝ 5 読み取り
有効

JAN/EAN-13 ｱﾄﾞｵﾝ 5 読み取り
無効

Copyright © 2015

JAN/EAN-13 ｱﾄﾞｵﾝ必須読み取り
有効

JAN/EAN-13 ｱﾄﾞｵﾝ必須読み取り
無効

JAN/EAN-13
ｱﾄﾞｵﾝｾﾊﾟﾚｰﾀ(ｽﾍﾟｰｽ<0x20>)送信
有効

JAN/EAN-13
ｱﾄﾞｵﾝｾﾊﾟﾚｰﾀ(ｽﾍﾟｰｽ<0x20>)送信
無効

JAN/EAN-13 ISBN 変換
有効

JAN/EAN-13
JAN/EAN-13 ISBN 変換
無効

Copyright © 2015

7.5. UPC-E

UPC-E
ﾃﾞｨﾌｫﾙﾄ値にﾘｾｯﾄ

UPC-E0 読み取り
有効

UPC-E0 読み取り
無効

UPC-E1 読み取り
有効

UPC-E1 読み取り
無効

UPC-E0 ﾁｪｯｸﾃﾞｼﾞｯﾄ送信
有効

UPC-E0 ﾁｪｯｸﾃﾞｼﾞｯﾄ送信
無効

UPC-E0 UPC-A 変換
有効

UPC-E0 UPC-A 変換
無効

Copyright © 2015

UPC-E0 ｱﾄﾞｵﾝ２読み取り
有効

UPC-E0 ｱﾄﾞｵﾝ２読み取り
無効

UPC-E0 ｱﾄﾞｵﾝ５読み取り
有効

UPC-E0 ｱﾄﾞｵﾝ５読み取り
無効

UPC-E0 ｱﾄﾞｵﾝ必須読み取り
有効

UPC-E0 ｱﾄﾞｵﾝ必須読み取り
無効

UPC-E0
ｱﾄﾞｵﾝｾﾊﾟﾚｰﾀ(ｽﾍﾟｰｽ<0x20>)送信
有効

UPC-E0
ｱﾄﾞｵﾝｾﾊﾟﾚｰﾀ(ｽﾍﾟｰｽ<0x20>)送信
無効

UPC-E0 ﾅﾝﾊﾞｰｼｽﾃﾑ送信
有効

UPC-E0 ﾅﾝﾊﾞｰｼｽﾃﾑ送信
無効

Copyright © 2015

7.6. UPC-A

UPC-A
ﾃﾞｨﾌｫﾙﾄ値にﾘｾｯﾄ

UPC-A 読み取り
有効

UPC-A 読み取り
無効

UPC-A ﾁｪｯｸﾃﾞｼﾞｯﾄ送信
有効

UPC-A ﾁｪｯｸﾃﾞｼﾞｯﾄ送信
無効

UPC-A ｱﾄﾞｵﾝ 2 読み取り
有効

UPC-A ｱﾄﾞｵﾝ 2 読み取り
無効

UPC-A ｱﾄﾞｵﾝ 5 読み取り
有効

UPC-A ｱﾄﾞｵﾝ 5 読み取り
無効

Copyright © 2015

UPC-A ｱﾄﾞｵﾝ必須読み取り
有効

UPC-A ｱﾄﾞｵﾝ必須読み取り
無効

UPC-A
ｱﾄﾞｵﾝｾﾊﾟﾚｰﾀ(ｽﾍﾟｰｽ<0x20>)送信
有効

UPC-A
ｱﾄﾞｵﾝｾﾊﾟﾚｰﾀ(ｽﾍﾟｰｽ<0x20>)送信
無効

UPC-A ﾅﾝﾊﾞｰｼｽﾃﾑ送信
有効

UPC-A ﾅﾝﾊﾞｰｼｽﾃﾑ送信
無効

Copyright © 2015

7.7. ｲﾝﾀｰﾘｰﾌﾞﾄﾞ 2/5

ｼﾘｱﾙｺﾏﾝﾄﾞを使用することで、最大及び最小読み取り桁数の設定が行えます。ｼﾘｱﾙｺﾏﾝﾄﾞについては、別冊の「ｼﾘｱﾙｺﾏﾝﾄﾞﾘﾌｧﾚﾝｽ」を参照ください。

ｲﾝﾀｰﾘｰﾌﾞﾄﾞ 2/5
ﾃﾞｨﾌｫﾙﾄ値にﾘｾｯﾄ

ｲﾝﾀｰﾘｰﾌﾞﾄﾞ 2/5 読み取り
有効

ｲﾝﾀｰﾘｰﾌﾞﾄﾞ 2/5 読み取り
無効

ｲﾝﾀｰﾘｰﾌﾞﾄﾞ 2/5
ﾁｪｯｸﾃﾞｼﾞｯﾄ検査無し・送信無し

ｲﾝﾀｰﾘｰﾌﾞﾄﾞ 2/5
ﾁｪｯｸﾃﾞｼﾞｯﾄ検査有り・送信有り

ｲﾝﾀｰﾘｰﾌﾞﾄﾞ 2/5
ﾁｪｯｸﾃﾞｼﾞｯﾄ検査有り・送信無し

Copyright © 2015

7.8. ｲﾝﾀﾞｽﾄﾘｱﾙ 2/5

ｼﾘｱﾙｺﾏﾝﾄﾞを使用することで、最大及び最小読み取り桁数の設定が行えます。ｼﾘｱﾙｺﾏﾝﾄﾞについては、別冊の「ｼﾘｱﾙｺﾏﾝﾄﾞﾘﾌｧﾚﾝｽ」を参照ください。

ｲﾝﾀﾞｽﾄﾘｱﾙ 2/5
ﾃﾞｨﾌｫﾙﾄ値にﾘｾｯﾄ

ｲﾝﾀﾞｽﾄﾘｱﾙ 2/5 読み取り
有効

ｲﾝﾀﾞｽﾄﾘｱﾙ 2/5 読み取り
無効

Copyright © 2015

7.9. ｺｰﾄﾞ 39

ｼﾘｱﾙｺﾏﾝﾄﾞを使用することで、最大及び最小読み取り桁数の設定が行えます。ｼﾘｱﾙｺﾏﾝﾄﾞについては、別冊の「ｼﾘｱﾙｺﾏﾝﾄﾞ ﾘﾌｧﾚﾝｽ」を参照ください。

ｺｰﾄﾞ 39
ﾃﾞｨﾌｫﾙﾄ値にﾘｾｯﾄ

ｺｰﾄﾞ 39 読み取り
有効

ｺｰﾄﾞ 39 読み取り
無効

ｺｰﾄﾞ 39 ﾌﾙｱｽｷｰ読み取り
有効

ｺｰﾄﾞ 39 ﾌﾙｱｽｷｰ読み取り
無効

ｺｰﾄﾞ 39 ｽﾀｰﾄ/ｽﾄｯﾌﾟ ｷｬﾗｸﾀ送信
有効

ｺｰﾄﾞ 39 ｽﾀｰﾄ/ｽﾄｯﾌﾟ ｷｬﾗｸﾀ送信
無効

Copyright © 2015

ｺｰﾄﾞ 39
ﾁｪｯｸﾃﾞｼﾞｯﾄ検査無し・送信無し

ｺｰﾄﾞ 39
ﾁｪｯｸﾃﾞｼﾞｯﾄ検査有り・送信有り

ｺｰﾄﾞ 39
ﾁｪｯｸﾃﾞｼﾞｯﾄ検査有り・送信無し

Copyright © 2015

7.10. ｺｰﾀﾞﾊﾞｰ(NW7)

ｼﾘｱﾙｺﾏﾝﾄﾞを使用することで、最大及び最小読み取り桁数の設定が行えます。ｼﾘｱﾙｺﾏﾝﾄﾞについては、別冊の「ｼﾘｱﾙｺﾏﾝﾄﾞﾘﾌｧﾚﾝｽ」を参照ください。

ｺｰﾀﾞﾊﾞｰ(NW7)
ﾃﾞｨﾌｫﾙﾄ値にﾘｾｯﾄ

ｺｰﾀﾞﾊﾞｰ(NW7)読み取り
有効

ｺｰﾀﾞﾊﾞｰ(NW7)読み取り
無効

ｺｰﾀﾞﾊﾞｰ(NW7)ｽﾀｰﾄ/ｽﾄｯﾌﾟｷｬﾗｸﾀ送信
有効

ｺｰﾀﾞﾊﾞｰ(NW7)ｽﾀｰﾄ/ｽﾄｯﾌﾟｷｬﾗｸﾀ送信
無効

ｺｰﾀﾞﾊﾞｰ(NW7)
ﾁｪｯｸﾃﾞｼﾞｯﾄ検査無し・送信無し

ｺｰﾀﾞﾊﾞｰ(NW7)
ﾁｪｯｸﾃﾞｼﾞｯﾄ検査有り・送信有り

ｺｰﾀﾞﾊﾞｰ(NW7)
ﾁｪｯｸﾃﾞｼﾞｯﾄ検査有り・送信無し

Copyright © 2015

7.11. ｺｰﾄﾞ 93

ｼﾘｱﾙｺﾏﾝﾄﾞを使用することで、最大及び最小読み取り桁数の設定が行えます。ｼﾘｱﾙｺﾏﾝﾄﾞについては、別冊の「ｼﾘｱﾙｺﾏﾝﾄﾞﾘﾌｧﾚﾝｽ」を参照ください。

ｺｰﾄﾞ 93
ﾃﾞｨﾌｫﾙﾄ値にﾘｾｯﾄ

ｺｰﾄﾞ 93 読み取り
有効

ｺｰﾄﾞ 93 読み取り
無効

ｺｰﾄﾞ 93 連結
有効

ｺｰﾄﾞ 93 連結
無効

Copyright © 2015

7.12. GS1-128

ｼﾘｱﾙｺﾏﾝﾄﾞを使用することで、最大及び最小読み取り桁数の設定が行えます。ｼﾘｱﾙｺﾏﾝﾄﾞについては、別冊の「ｼﾘｱﾙｺﾏﾝﾄﾞﾘﾌｧﾚﾝｽ」を参照ください。

GS1-128
ﾃﾞｨﾌｫﾙﾄ値にﾘｾｯﾄ

GS1-128 読み取り
有効

GS1-128 読み取り
無効

7.12. MSI

ｼﾘｱﾙｺﾏﾝﾄﾞを使用することで、最大及び最小読み取り桁数の設定が行えます。ｼﾘｱﾙｺﾏﾝﾄﾞについては、別冊の「ｼﾘｱﾙｺﾏﾝﾄﾞﾘﾌｧﾚﾝｽ」を参照ください。

MSI
ﾃﾞｨﾌｫﾙﾄ値にﾘｾｯﾄ

MSI 読み取り
有効

MSI 読み取り
無効

Copyright © 2015

MSI ﾁｪｯｸﾃﾞｼﾞｯﾄ(ﾀｲﾌﾟ 10)検査有り・送信有り

MSI ﾁｪｯｸﾃﾞｼﾞｯﾄ(ﾀｲﾌﾟ 10&11)検査有り・送信有り

MSI ﾁｪｯｸﾃﾞｼﾞｯﾄ(ﾀｲﾌﾟ 10&11)検査有り・送信無し

MSI ﾁｪｯｸﾃﾞｼﾞｯﾄ(ﾀｲﾌﾟ 10)検査有り・送信無し

MSI ﾁｪｯｸﾃﾞｼﾞｯﾄ(ﾀｲﾌﾟ 10x2)検査有り・送信無し

MSI ﾁｪｯｸﾃﾞｼﾞｯﾄ(ﾀｲﾌﾟ 10x2)検査有り・送信有り

MSI ﾁｪｯｸﾃﾞｼﾞｯﾄ検査無し

Copyright © 2015

7.14. PDF417

ｼﾘｱﾙｺﾏﾝﾄﾞを使用することで、最大及び最小読み取り桁数の設定が行えます。ｼﾘｱﾙｺﾏﾝﾄﾞについては、別冊の「ｼﾘｱﾙｺﾏﾝﾄﾞ ﾘﾌｧﾚﾝｽ」を参照ください。

PDF417
ﾃﾞｨﾌｫﾙﾄ値にﾘｾｯﾄ

PDF417 読み取り
有効

PDF417 読み取り
無効

microPDF417 読み取り
有効

microPDF417 読み取り
無効

Copyright © 2015

7.15. QR ｺｰﾄﾞ

ｼﾘｱﾙｺﾏﾝﾄﾞを使用することで、最大及び最小読み取り桁数の設定が行えます。ｼﾘｱﾙｺﾏﾝﾄﾞについては、別冊の「ｼﾘｱﾙｺﾏﾝﾄﾞﾘﾌｧﾚﾝｽ」を参照ください。

QR ｺｰﾄﾞ
ﾃﾞｨﾌｫﾙﾄ値にﾘｾｯﾄ

QR ｺｰﾄﾞ 読み取り
有効

QR ｺｰﾄﾞ 読み取り
無効

QR ｺｰﾄﾞ 連結
有効

QR ｺｰﾄﾞ 連結
無効

Copyright © 2015

7.16. Data Matrix

ｼﾘｱﾙｺﾏﾝﾄﾞを使用することで、最大及び最小読み取り桁数の設定が行えます。ｼﾘｱﾙｺﾏﾝﾄﾞについては、別冊の「ｼﾘｱﾙｺﾏﾝﾄﾞﾘﾌｧﾚﾝｽ」を参照ください。

Data Matrix
ﾃﾞｨﾌｫﾙﾄ値にﾘｾｯﾄ

Data Matrix 読み取り
有効

Data Matrix 読み取り
無効

7.17. Maxi ｺｰﾄﾞ

ｼﾘｱﾙｺﾏﾝﾄﾞを使用することで、最大及び最小読み取り桁数の設定が行えます。ｼﾘｱﾙｺﾏﾝﾄﾞについては、別冊の「ｼﾘｱﾙｺﾏﾝﾄﾞﾘﾌｧﾚﾝｽ」を参照ください。

Maxi ｺｰﾄﾞ
ﾃﾞｨﾌｫﾙﾄ値にﾘｾｯﾄ

Maxi ｺｰﾄﾞ 読み取り
有効

Maxi ｺｰﾄﾞ 読み取り
無効

Copyright © 2015

7.18. Aztec ｺｰﾄﾞ

ｼﾘｱﾙｺﾏﾝﾄﾞを使用することで、最大及び最小読み取り桁数の設定が行えます。ｼﾘｱﾙｺﾏﾝﾄﾞについては、別冊の「ｼﾘｱﾙｺﾏﾝﾄﾞﾘﾌｧﾚﾝｽ」を参照ください。

Aztec ｺｰﾄﾞ
ﾃﾞｨﾌｫﾙﾄ値にﾘｾｯﾄ

Aztec ｺｰﾄﾞ 読み取り
有効

Aztec ｺｰﾄﾞ 読み取り
無効

Aztec ｺｰﾄﾞ 連結
有効

Aztec ｺｰﾄﾞ 連結
無効

Copyright © 2015

補足 A. ASCII ｺｰﾄﾞ表

ASCII ｺｰﾄﾞ表									
	0	1	2	3	4	5	6	7	8
0	NUL	DLE	SP	0	@	P	`	p	
1	SOH	DC1	!	1	A	Q	a	q	
2	STX	DC2	“	2	B	R	b	r	
3	ETX	DC3	#	3	C	S	c	s	
4	EOT	DC4	$	4	D	T	d	t	
5	ENQ	NAK	%	5	E	U	e	u	
6	ACK	SYN	&	6	F	V	f	v	
7	BEL	ETB	‘	7	G	W	g	w	
8	BS	CAN	(	8	H	X	h	x	
9	HT	EM	)	9	I	Y	I	y	
A	LF	SUB	*	:	J	Z	j	z	
B	VT	ESC	+	;	K	[	k	{	
C	FF	FS	,	<	L	¥	l	|	
D	CR	GS	-	=	M	]	m	}	
E	SO	RS	.	>	N	^	n	~	
F	SI	US	/	?	O	_	o	DLE	

Copyright © 2015

補足 B. 16 進数ｺｰﾄﾞ表

0

1

2

3

4

5

6

7

8

9

Copyright © 2015

A

B

C

D

E

F

Copyright © 2015

補足 C. ｻﾝﾌﾟﾙﾊﾞｰｺｰﾄﾞ

ｺｰﾄﾞ 39

CODE 3OF9

JAN-13

3 456789 012340

ｲﾝﾀｰﾘｰﾌﾞﾄﾞ 2/5(ITF)

1234567890123456789 0

ｺｰﾄﾞ 128

Code 128 Barcode

RSS-14

0123456789000006

Copyright © 2015

PDF417

PDF417 Sample

ﾃﾞｰﾀﾏﾄﾘｸｽ

DataMatrix

Aztec

Aztec

QR(ﾓﾃﾞﾙ2)

QR CODE MODEL 2

反転 QR(ﾓﾃﾞﾙ2)

QR Nega

Copyright © 2015

修理依頼書

修理を依頼される場合は、下記の用紙に必要事項を記入し、修理品と一緒に販売店へご返送ください。尚、修理は全てｾﾝﾄﾞﾊﾞｯｸ方式で行います。現地での出張修理などは一切行いません。

修理依頼書			
依頼日			
会社名			
部署名			
担当者			
メールアドレス			
電話番号		ＦＡＸ番号	
ご住所			
販売店名		ご購入日	
製品型番（名称）			
製造番号（S/N）			
付属品	ケーブル[　　]･ＡＣアダプタ		

トラブルの症状を詳しく記入してください。
また、症状を確認するために必要なバーコードラベルや磁気カード等があれば、修理品に添付してお送りください。

症状発生頻度　：　□ 常に起こる　□ １日に [　　]回程度
インターフェイス　：　□ キーボード　□ RS232C　□ USB
□ その他　[　　]
接続ホスト　：　メーカー　[　　]
型番　[　　]

その他、使用状況を記入ください。

返送先	
見積・請求先	

スポットサービス時は、修理見積後に修理をキャンセルされた場合に限り、見積料として弊社所定の料金を申し受けます。ご了承いただける場合は、押印の上、修理品に添付してご返送ください。	ご確認印

Copyright © 2015